大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成27年8月分【埋立中調査①】)

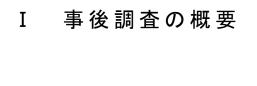
【廃棄物処分場周辺 水質】

【廃棄物搬入施設周辺 大気質・交通量・悪臭】

国土交通省 近畿地方整備局 大 阪 市 港 湾 局 大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

Ι	事後調査の概要	
	1. 調査概要	I - 1
	2. 工事の実施状況	I - 12
	3. 調査結果の概要	I - 13
П	事後調査結果	
	1. 水質 (廃棄物処分場周辺) ······	I I - 1
	2. 大気質 (廃棄物搬入施設周辺) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	II- 7
	3. 交通量(廃棄物搬入施設周辺)	I I− 16
	4. 悪臭 (廃棄物搬入施設周辺) ·······	II - 22



1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 27 年 8 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要(平成27年8月)

廃棄物処分場の埋立に係る調査

表-1(1) 大気質

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂)	1点(南港中央公園局)	8月1日~31日	通年連続
窒素酸化物(NO ₂ 、NO)			
浮遊粒子状物質(SPM)			
風向·風速			

表-1(2) 水質 /一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目	5点×2層	8月6日	1回/月
水素イオン濃度(pH)	【1, 2, 3, 4, 5】		
化学的酸素要求量(COD)	上層:海面下1m		
溶存酸素量(DO)	下層:海底面上2m		
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
●その他の項目			
透明度			
水温			
塩分			
濁度			
浮遊物質量(SS)			
クロロフィルa			

表-1(3) 水質 /放流水、内水及び護岸外周(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
	放流水 1点	8月1日~31日	連続測定
水温	72770-14	3,1,1	2-150/21/2
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
	放流水 1点	8月6,10,18,25日	1回/週
不揮発性浮遊物質量(FSS)	内 水 1点		
	· (処理原水)	8月6日	1回/月
化学的酸素要求量(COD)			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)	co.	8月6日	4回/年
n-ヘキサン抽出物質			(5月、8月、11月、2月)
大腸菌群数			
透明度	護岸外周 3点×2層	8月6日	4回/年
水温	(護岸から30m)		(5月、8月、11月、2月)
塩分	[19, 20, 21]		
浮遊物質量(SS)	上層:海面下1m		
不揮発性浮遊物質量(FSS)	下層:海底面上2m		
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
n-ヘキサン抽出物質	n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査		
大腸菌群数	大腸菌群数は上層のみ調査		

表-1(4) 水質 /放流水、内水及び護岸外周(2)

	1(4) 水質 /放流水、内水及び間		
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●健康項目等	放流水 1点		放流水、内水
カドミウム	内 水 1点		4回/年
全シアン	(処理原水)		(5月、8月、11月、2月)
鉛	護岸外周 3点×2層		
六価クロム	(護岸から30m)		護岸外周
砒素	[19, 20, 21]		4回/年
総水銀	上層:海面下1m		(5月、8月、11月、2月)
アルキル水銀	下層:海底面上2m		
PCB			
ジクロロメタン			
四塩化炭素			
1,2-ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
シス-1,2-ジクロロエチレン			
1,1,1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
1,3-ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン		8月6日	
セレン		-,,-,	
フェノール類			
銅			
亜鉛			
溶解性鉄			
溶解性マンガン			
全クロム			
エッーー 陰イオン界面活性剤			
有機燐			
ほう素			
ふっ素			
アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、			
亜硝酸化合物及び硝酸化合物) 1,4-ジオキサン			
塩化ビニルモノマー	塩化ビニルモノマー、1.2-ジクロロエチレン		
1,2-ジクロロエチレン	は護岸外周のみ調査		
ダイオキシン類	ダイオキシシ類は上層のみ調査		放流水 4回/年
			(5月、8月、11月、2月)
			内 水 2回/年
			(8月、2月)
			護岸外周 1回/年
			(8月)

表-1(5) 水質 /処分場周辺

	表-1(5) 水質 /処分場。		2m -t- 47 -t-
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度	6点(護岸から500m)×2層		4回/年
水温	[13, 14, 15, 16, 17, 18]		(5月、8月、11月、2月)
塩分	上層:海面下1m		
濁度	下層:海底面上2m		
浮遊物質量(SS)			
不揮発性浮遊物質量(FSS)			
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
クロロフィルa			
n-ヘキサン抽出物質	n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査		
大腸菌群数	大腸菌群数は上層のみ調査		
カドミウム			2回/年
全シアン			(8月、2月)
鉛			
六価クロム			
砒素			
総水銀			
アルキル水銀			
PCB			
ジクロロメタン			
四塩化炭素		8月6日	
1,2-ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
シス-1,2-ジクロロエチレン			
1,1,1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
1,3-ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン			
セレン			
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			
フェノール類			
銅			
五			
溶解性鉄			
溶解性マンガン			
全クロム			
ニューム 陰イオン界面活性剤			
有機燐			
1,4-ジオキサン			
1,1 フカコラン		l	1

表-1(6) 底質 /一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度	
粒度組成	4点(表層土)		2回/年	
含水率	[2, 3, 4, 5]		(8月、2月)	
強熱減量				
化学的酸素要求量(COD)		8月6日		
硫化物		0,701		
全窒素(T-N)				
全燐(T-P)				
酸化還元電位				

表-1(7) 底質 /処分場周辺

表-1(7) 底質 /処分場周辺						
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度			
●一般項目	1点(表層土)		2回/年			
粒度組成	[15]		(8月、2月)			
含水率						
強熱減量						
化学的酸素要求量(COD)						
硫化物						
全窒素(T-N)						
全燐(T-P)						
酸化還元電位						
●有害項目<含有量試験>						
アルキル水銀						
総水銀						
カドミウム						
鉛						
有機燐						
六価クロム						
砒素						
シアン						
PCB						
銅						
亜鉛		8月6日				
ふっ化物		07,011				
トリクロロエチレン						
テトラクロロエチレン						
ベリリウム						
クロム						
ニッケル						
バナジウム						
有機塩素化合物						
ジクロロメタン						
四塩化炭素						
1,2-ジクロロエタン						
1,1-ジクロロエチレン						
シス-1,2-ジクロロエチレン						
1,1,1-トリクロロエタン						
1,1,2-トリクロロエタン						
1,3-ジクロロプロペン						
チウラム						
シマジン						
チオベンカルブ						
ベンゼン						
セレン						

表-1(8) 騒音・低周波空気振動

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年
低周波空気振動音圧レベル		_	(4月、10月)

表-1(9) 悪臭

調査項目	調査項目 調査範囲・地点		調査頻度	
臭気強度	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年	
臭気指数		8月24日	(8月、9月)	
特定悪臭物質濃度				

表-1(10) 陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点	実施年に該当せず	4回/年(2年おきに実施)
	[a, b, c, d]		(5月、6月、8月、2月)

廃棄物搬入施設に係る調査

表-1(11) 廃棄物搬入施設

	調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂)	搬入ルート沿道		1週間×4回/年
	窒素酸化物(NO2、NO)	大阪基地 : 2点	8月2日~8日	(5月、8月、11月、2月)
	浮遊粒子状物質(SPM)	[No.2、3]		
	風向・風速	堺基地:2点	8月18日~24日	
		[No.1, 2]		
		泉大津基地 : 2点	8月19日~25日	
		[No.A、B]		
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道		2回/年
		大阪基地 : 2点		(操業時間帯に実施)
		[No.2、3]		(5月、11月)
		堺基地:2点	_	
		[No.1, 2]		
		泉大津基地 : 2点		
		[No.A、B]		
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道		2回/年
		大阪基地 : 2点		(操業時間帯に実施)
		[No.2, 3]		(5月、11月)
		堺基地:2点	_	
		[No.1, 2]		
		泉大津基地 : 2点		
		[No.A、B]		
交通量	廃棄物輸送車	搬入ルート沿道		4回/年
	一般車	大阪基地 :3点	8月3日	(操業時間帯に実施)
		[No.1, 2, 4]		(5月、8月、11月、2月)
		堺基地:4点	8月20日	
		[No.1, 2, 3, 4]		
		泉大津基地 : 3点	8月19日	
		[No.A, B, C]		
悪臭	臭気強度	敷地境界		2回/年
	臭気指数	大阪基地 : 2点(風上、風下)	8月11日	(6月、8月)
		[No.5, 6]		
		堺基地 : 2点(風上、風下)	8月12日	
		[No.5, 6]		
		泉大津基地 : 2点(風上、風下)	8月11日	
		[No.D1, D2]		

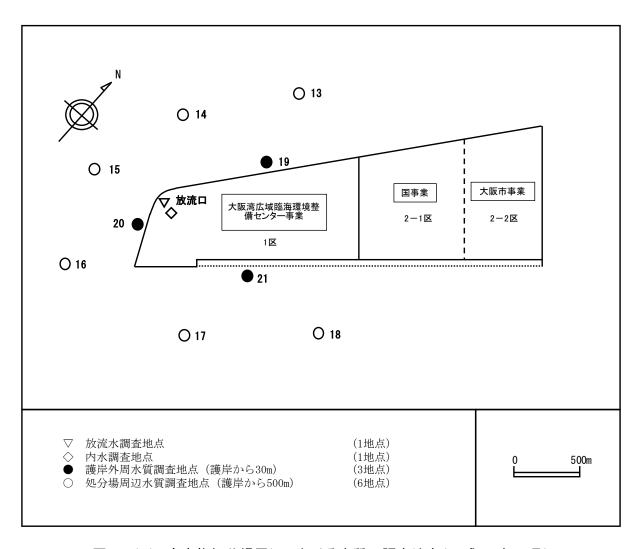


図-1(1) 廃棄物処分場周辺における水質の調査地点(平成27年8月)

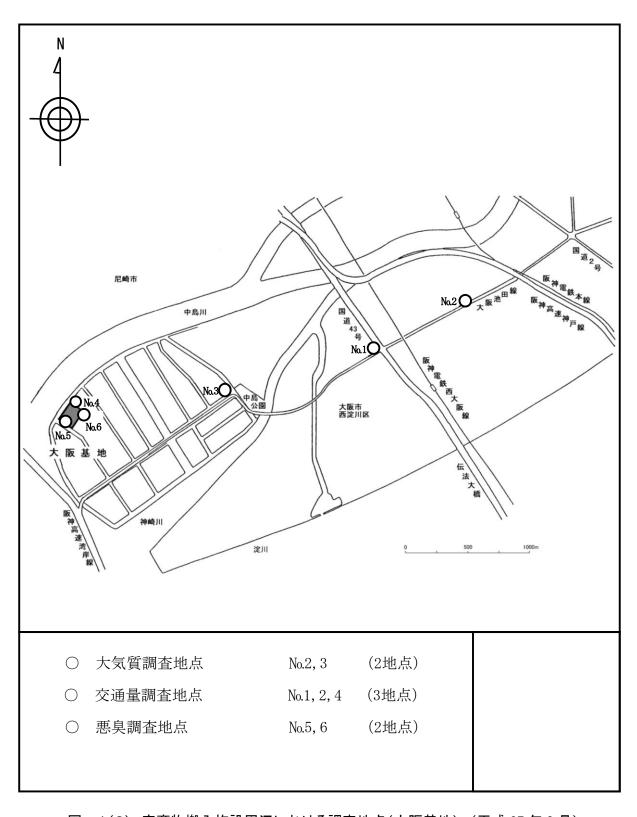


図-1(2) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(大阪基地) (平成 27 年 8 月)

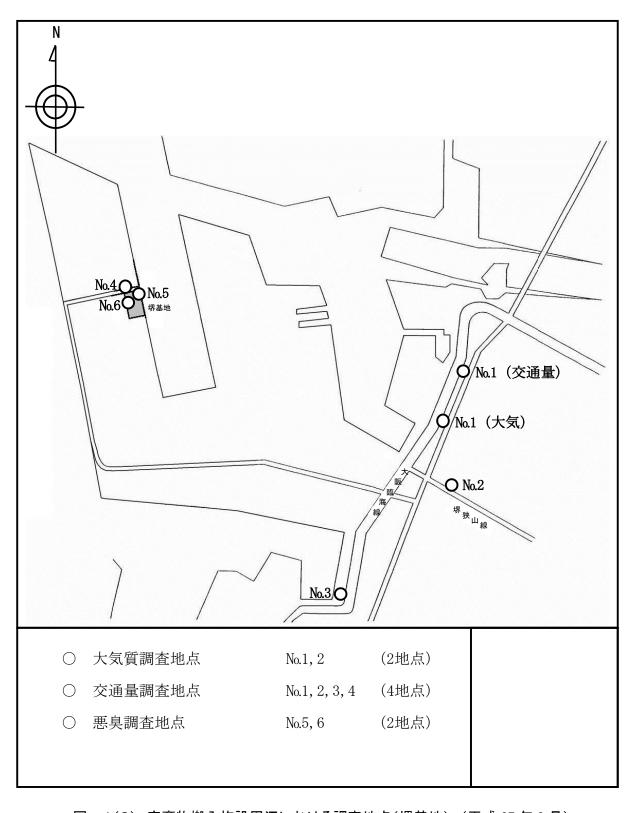


図-1(3) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(堺基地)(平成27年8月)

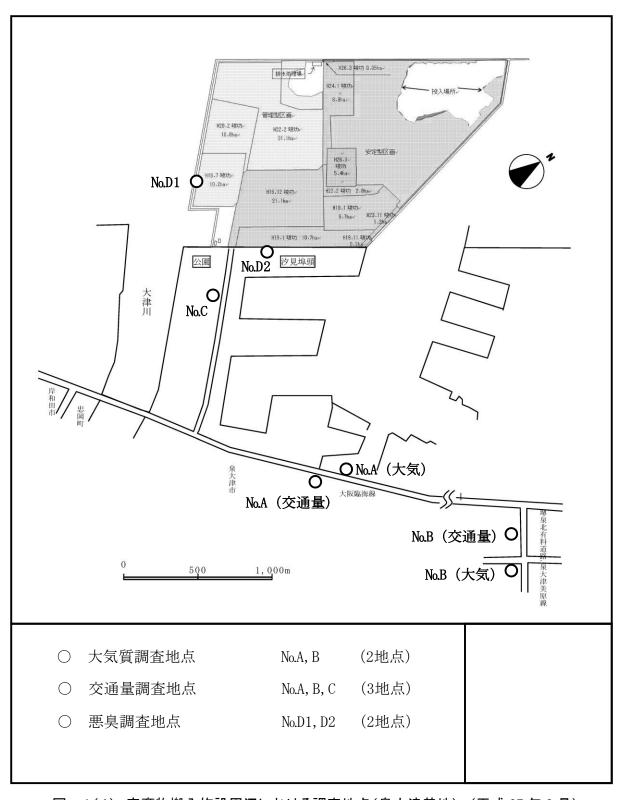
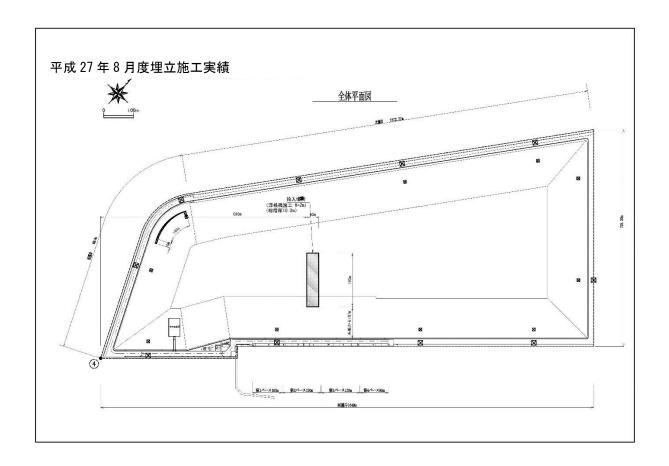


図-1(4) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(泉大津基地) (平成 27年8月)

2. 工事の実施状況

平成27年8月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m³)	進捗率(%)	
3,357,251	24.0	

埋立容量(計画量): 13,975,000 m3

図-2 工事の実施状況 (平成27年8月)

3. 調査結果の概要

廃棄物処分場の埋立に係る調査

(1) 大気質

平成27年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】に記載

(2) 水質

1)一般項目

平成27年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】に記載

②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第6~10、12号]

1) 放流水(連続測定)

濁度は、0.5~0.6 度(カオリン) (平均値 0.6 度(カオリン)) の範囲であった。

水温は、27.3~31.3°C(平均値 29.4°C)の範囲であった。

pH は、 $6.6\sim7.0$ の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値(5.0 以上 9.0 以下)の範囲内であった。

COD は、 $16.0\sim17.5$ mg/L(平均値 16.6mg/L)の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値(90mg/L)及び管理目標値(40mg/L)を下回っていた。

DO は、 $5.1\sim6.0$ mg/L(平均値 5.6mg/L)の範囲であった。

2) 放流水、内水

• 放流水

SS は、 $1.5\sim1.7$ mg/L(平均値 1.6mg/L)の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L)及び管理目標値 (50mg/L)を下回っていた。

FSS は、全測定を通じて報告下限値未満(<1mg/L)であった。

pH は、7.1 であり、放流水の基準値及び管理目標値(5.0 以上 9.0 以下)の範囲内であった。 COD は、17mg/L であり、放流水の基準値(90mg/L)及び管理目標値(40mg/L)を下回っていた。

T-N は、4.4mg/L であり、放流水の基準値(120mg/L、日間平均 60mg/L)及び管理目標値(30mg/L)を下回っていた。

T-P は、報告下限値未満 (<0.1mg/L) であり、放流水の基準値 (16mg/L、日間平均 8mg/L) 及び管理目標値 (4mg/L) を下回っていた。

n-^ヘキサン抽出物質は、報告下限値未満(<0.5mg/L)であり、放流水の基準値及び管理目標値(鉱油類含有量 5mg/L、動植物油脂類含有量 30mg/L)を下回っていた。

大腸菌群数は、不検出であり、放流水の基準値及び管理目標値(日間平均 3,000 個/cm³以下)を下回っていた。

健康項目等については、事後調査報告書(平成27年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

内水

SS は、 $3.0\sim4.4$ mg/L(平均値 3.8mg/L)の範囲であった。

FSS は、報告下限値未満(<1mg/L) $\sim1.3mg/L$ (平均値 1.2mg/L)の範囲であった。

pH は 8.4、COD は 24mg/L、T-N は 5.4mg/L、T-P は 0.11mg/L、n-^キサン抽出物質は報告下限値未満(<0.5mg/L)、大腸菌群数は 6 個/mL であった。

健康項目等については、事後調査報告書(平成27年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

3) 護岸外周

ア) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で $1\sim5$ mg/L、下層で $2\sim9$ mg/L の範囲であった。

イ) 不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量(FSS)は上層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim1mg/L$ 、下層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim6mg/L$ の範囲であった。

ウ) **水素イオン濃度** (pH) 【環境基準値:7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.2~8.6、下層で 7.8~7.9 の範囲にあり、上層では調査地点 20、21 で環境基準値の範囲を満たしていなかったが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 20 (8.4)、調査地点 21 (8.6)であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13~18)の調査結果は、上層で 8.0~8.7であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

工)化学的酸素要求量(COD)【環境基準值:3mg/L 以下】

化学的酸素要求量(COD)は上層で $2.6\sim5.3$ mg/L、下層で $1.8\sim2.2$ mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 20、21 で環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層における調査地点 20(3.9 mg/L)、調査地点 21(5.3 mg/L)であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13 \sim 18$)の調査結果は、上層で $2.1 \sim 8.1 mg/L$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

t) 溶存酸素量(DO)【環境基準值:5mg/L以上】

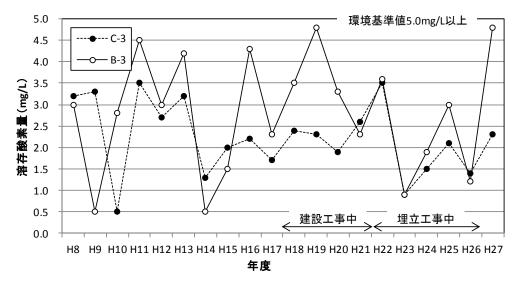
溶存酸素量 (DO) は上層で $6.2\sim9.0$ mg/L、下層で $0.9\sim3.1$ mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 19(2.2 mg/L)、調査地点 20(3.1 mg/L)、調査地点 21(0.9 mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13\sim18$)の調査結果は、下層で $1.9\sim9.5 \text{mg/L}$ であり、調査地点 21 の下層でこの範囲

を下回っていた。

調査海域の近傍に位置する環境基準点 B-3 及び C-3 の 20 年間の観測値を見ると、底層の年最小値は B-3 で $0.5\sim4.8$ mg/L、C-3 で $0.5\sim3.5$ mg/L と、溶存酸素量が低くなる貧酸素状態が継続しており、1mg/L 前後の強い貧酸素状態もしばしば観測されている。これらの値は概ね 7月~9月に出現していることから、工事以前から同海域の底層では夏季に貧酸素状態となっていたことがわかる。

また、8月6日に実施された環境基準点の調査における底層の溶存酸素量は C-3 (南港西)で 2.3mg/L、C-4 (堺泉北港西)で 0.6mg/L と周辺海域の広い範囲で貧酸素状態となっていた。これらのことから、本調査結果の低濃度事例についても、工事以前から夏季の底層にみられる貧酸素状態によるものと考えられる。



※平成26年度は暫定値、平成27年度は8月の速報値

図-3 環境基準点 B-3 及び C-3 の底層における溶存酸素量の年最小値の推移

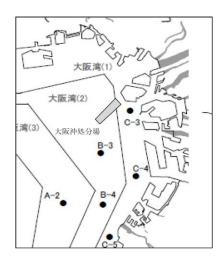


図-4 観測地点周辺の環境基準点

カ) **全窒素** (T-N) 【環境基準値: 0.6mg/L 以下】

全窒素(T-N)は上層で $0.44\sim0.76$ mg/L、下層で $0.40\sim0.48$ mg/L の範囲にあり、調査地点 21 の上層では環境基準値を上回っていたが、その他の地点は全ての調査地点において環境 基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 21 (0.76 mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 $13 \sim 18$) の調査結果は、上層で $0.40 \sim 1.4 mg/L$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

‡) 全燐 (T-P) 【環境基準値: 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で $0.047\sim0.070$ mg/L、下層で $0.088\sim0.10$ mg/L の範囲にあり、調査地点 19 の上層を除く全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 20 (0.053 mg/L) 、調査地点 21 (0.070 mg/L) 及び下層における調査地点 19 (0.091 mg/L) 、調査地点 20 (0.088 mg/L) 、調査地点 21 (0.100 mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13 \sim 18$)の調査結果は、上層で $0.033 \sim 0.18 \text{mg/L}$ 、下層で $0.014 \sim 0.16 \text{mg/L}$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

ク) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値:検出されないこと】

n-^ヘキサン抽出物質は全ての調査地点において報告下限値未満(<0.5mg/L)であり、環境基準値を満たしていた。

ケ) 大腸菌群数

大腸菌群数は $1.3\times10^{1}\sim3.3\times10^{1}$ MPN/100mL の範囲であった。

2) 健康項目等

事後調査報告書(平成27年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

②-2 処分場周辺 [水質様式第 16 号]

1) 濁度

濁度は上層で 2.1~6.4 度(カオリン)、下層で 2.9~6.6 度(カオリン)の範囲であった。

2) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で $2\sim5$ mg/L、下層で $3\sim9$ mg/L の範囲であった。

3) 不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量 (FSS) は上層で報告下限値未満 (<1mg/L) $\sim1mg/L$ 、下層で $2\sim7mg/L$ の範囲であった。

4) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値:7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.4~8.6、下層で 7.8~8.0 の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 13(8.4)、調査地点 14(8.4)、調査地点 15(8.4)、調査地点 16(8.5)、調査地点 17(8.6)、調査地点 18(8.5) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13\sim18$)の調査結果は、上層で $8.0\sim8.7$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 化学的酸素要求量(COD) 【環境基準值:3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.5~5.1mg/L、下層で 1.7~2.4mg/L の範囲にあり、 上層では調査地点 13 以外の調査地点で環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地 点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層における調査地点 14 (3.1 mg/L)、調査地点 15 (3.5 mg/L)、調査地点 16 (4.0 mg/L)、調査地点 17 (5.1 mg/L)、調査地点 18 (4.9 mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13 \sim 18$) の調査結果は、上層で $2.1 \sim 8.1 mg/L$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) **溶存酸素量** (DO) 【環境基準値:5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で $6.0\sim7.6$ mg/L、下層で $1.3\sim2.8$ mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 13(2.3mg/L)、調査地点 14(1.4mg/L)、調査地点 15(1.3mg/L)、調査地点 16(2.8mg/L)、調査地点 17(1.6mg/L)、調査地点 18(1.3mg/L)であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 13~18)の調査結果は、下層で 1.9~9.5mg/L であり、調査地点 14、15、17、18 の下層でこの範囲を下回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。また、護岸外周と同様に、工事以前から夏季の底層にみられる貧酸素状態によるものと考えられる。

7) **全窒素** (T-N) 【環境基準値:0.6mg/L以下】

全窒素(T-N)は上層で $0.35\sim0.79$ mg/L、下層で $0.25\sim0.42$ mg/L の範囲にあり、上層で は調査地点 17、18 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において 環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 17 (0.69 mg/L) 、調査地点 18 (0.79 mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13\sim18$)の調査結果は、上層で $0.40\sim1.4 mg/L$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

8) 全燐 (T-P) 【環境基準値: 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で $0.040\sim0.076$ mg/L、下層で $0.048\sim0.092$ mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 16、17、18 において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 13、15、17、18 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 16(0.059 mg/L)、調査地点 17(0.070 mg/L)、調査地点 18(0.076 mg/L)及び下層における調査地点 13(0.053 mg/L)、調査地点 15(0.062 mg/L)、調査地点 17(0.092 mg/L)、調査地点 18(0.089 mg/L)であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13 \sim 18$)の調査結果は、上層で $0.033 \sim 0.18 mg/L$ 、下層で $0.014 \sim 0.16 mg/L$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

9) 10071h a

/ pp 7/ N a は上層で $5.5 \sim 27 \mu g/L$ 、下層で $0.3 \sim 0.5 \mu g/L$ の範囲であった。

10) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値:検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は全ての調査地点において報告下限値未満(<0.5mg/L)であり、環境基準値を満たしていた。

11) 大腸菌群数

大腸菌群数は $2.0 \times 10^{\circ} \sim 7.9 \times 10^{\circ} MPN/100 mL$ の範囲であった。

12) カドミウム等

事後調査報告書(平成27年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

(3) 底質

1) 一般項目

事後調査報告書(平成27年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査②】)で報告する。

2) 処分場周辺

事後調査報告書(平成27年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

(4) 騒音・低周波空気振動

8月は実施せず。

(5) 悪臭

事後調査報告書(平成27年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

(6) 陸域生態系(鳥類)

実施年度ではないため、未実施。

廃棄物搬入施設に係る調査

(1) **大気質** 「大気質様式第9~16号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は 2.1m/sec であった。

イ) 中島公園近傍の測定点(No.3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は 2.6m/sec であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西北西であり、平均風速は 1.0m/sec であった。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北東であり、平均風速は 0.9m/sec であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北西であり、平均風速は 1.5m/sec であった。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北であり、平均風速は 1.3m/sec であった。

(2) 騒音・振動

8月は実施せず。

(3) **交通量** 「交通量様式第1~2号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は 1,120~1,422 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~6 台で推移し、測定日の

廃棄物輸送車総交通量は25 台/10hrで、総交通量(13,039 台/10hr)に占める割合は0.2%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は 1,170~1,596 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~3 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 11 台/10hr で、総交通量(13,829 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No.4)

時間交通量は $89\sim194$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim31$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 156 台/10hrで、総交通量(1,494 台/10hr)に占める割合は 10.4% であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は $2,006\sim3,270$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim21$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 100 台/10hr で、総交通量(25,060 台/10hr)に占める割合は 0.4%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は $1,099\sim1,860$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim3$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 17 台/10hr で、総交通量(14,825 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.3)

時間交通量は 1,775~2,886 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~16 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 74 台/10hr で、総交通量(23,288 台/10hr)に占める割合は 0.3%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点(No.4)

時間交通量は $1\sim76$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $1\sim64$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 286 台/9hrで、総交通量(316 台/9hr)に占める割合は 90.5%であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

時間交通量は $2,133\sim3,054$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim7$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 37 台/10hr で、総交通量(24,571 台/10hr)に占める割合は 0.2%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと

考えられる。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

時間交通量は $734\sim1,278$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim6$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 24 台/10hr で、総交通量(9,282 台/10hr)に占める割合は 0.3% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 泉大津基地近傍の測定点(No. C)

時間交通量は $167\sim392$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim14$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 68 台/10hr で、総交通量(2,792 台/10hr)に占める割合は 2.4%であった。

(4) 悪臭

1) 大阪基地

臭気指数は No.5 (風上)、No.6 (風下) ともに<10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

2) 堺基地

臭気指数は No.5 (風下)、No.6 (風上) ともに<10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

3) 泉大津基地

臭気指数は D1 (風上)、D2 (風下) ともに<10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

《 参 考 》環境基準等(本報告関係分)

1 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、
(SO ₂)	1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、
(SPM)	1時間値が0.20mg/m³以下であること。

(2) 水質 (海域)

類型	項目	基準値	
水素イオン濃度 (pH)		7.8 以上 8.3 以下	
D	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下	
В	溶存酸素量 (DO)	5mg/L以上	
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと	
ш	全窒素 (T·N)	0.6mg/L 以下	
Ш	全燐 (T·P)	0.05mg/L 以下	

- 注)1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全 窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。
 - 2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。 公共用水域における環境基準 (BOD 又は COD) の評価方法について (昭和 52 年環水管 52 号)
 - (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ $0.75 \times n$ 番目 (nは日間平均値のデータ数)のデータ値をもって75%水質値 $(0.75 \times n$ 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる)とする。

- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について 環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と 同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基 準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断 方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 規制基準値等

(1) 水質(放流水)

処分場	項目	基準値	管理目標値
	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
管	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
理 型	浮遊物質量 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L以下
最	全窒素 (T-N)	120mg/L(日間平均 60mg/L)以下	30mg/L以下
終処	全燐 (T-P)	16mg/L(日間平均 8mg/L)以下	4mg/L 以下
分場	ノルマルヘキサン抽出物質 含有量(n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量:30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000 個/cm ³ 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令 別表第一より抜粋
 - 2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 悪臭

項目	基 準 値
	敷地境界線における規制基準:10 規制地域:大阪市の区域 ^{注1)} 、堺市の区域 ^{注2)} (泉大津市については、指導指針値 ^{注3)} の取り扱いである。)

- 注) 1. 悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準;大阪市(平成18年1月告示)
 - 2. 悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準; 堺市(平成19年11月告示)
 - 3. 泉大津市悪臭公害防止指導要綱;泉大津市(昭和59年3月公布)
- ※ なお、大阪府の大気環境に関する環境保全目標では、悪臭については「大部分の地域住民が日常 生活において感知しない程度」となっている。

3. 廃棄物等受入前調査結果 (平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月·水質 (処分場周辺))

		廃棄物等受入前調査		
	区分	(平成 20 年 5,8,11 月、		
項目	\ <u>\</u>	処分場周辺(調査地点 13~18)		
		最小値 ~ 最大値	平均値	
		(m/n)	(m/n)	
水素イオン濃度	上層	$8.0 \sim 8.7$ (19/36)	_	
(pH)	一〕 下層	$7.8 \sim 8.3$ (0/36)	_	
化学的酸素要求	量上層	$2.1 \sim 8.1 \ (26/36)$	4.3 ~ 5.8 (6/6)	
(COD) [mg	/L〕 下層	1.5 ~ 3.3 (3/36)	2.4 ~ 3.0 (0/6)	
溶存酸素量	上層	7.5 ~ 12 (0/36)	9.1 ~ 9.8	
(DO) [mg	/L〕 下層	1.9 ~ 9.5 (9/36)	$5.8 \sim 7.0$	
n-ヘキサン抽出物 〔mg	上層	<0.5 ~ <0.5 (0/36)	<0.5 ~ <0.5	
全窒素	上層	0.40 ~ 1.4	$0.65 \sim 0.92$ (6/6)	
(T-N) [mg	/L〕 下層	0.18 ~ 0.79	0.32 ~ 0.44 (0/6)	
全燐	上層	0.033 ~ 0.18	$0.067 \sim 0.097$ (6/6)	
(T-P) (mg	·/L〕 下層	0.014 ~ 0.16	$0.034 \sim 0.075 \ (4/6)$	

注) 1.「最大~最小」の値は、調査地点 13~18 におけるそれぞれ全調査地点の最小値と最大値を示す。

^{2.} m:環境基準を満たしていないデータ数、n:総データ数を示す。

^{3.「}平均値」の値は、各調査地点における期間平均値の最小~最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

水質調査結果(放流水(連続測定:総括))

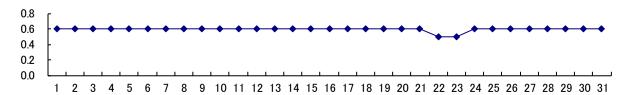
[平成27年 8月分]

	区分	放流水			
項目		最小値	~	最大値	平均值
濁度	[度(カオリン)]	0. 5	\sim	0.6	0.6
水温	$[\infty]$	27. 3	~	31.3	29. 4
рН	[-]	6.6	~	7.0	6. 7
COD	[mg/L]	16. 0	~	17.5	16. 6
DO	[mg/L]	5. 1	~	6.0	5. 6
特記事項					

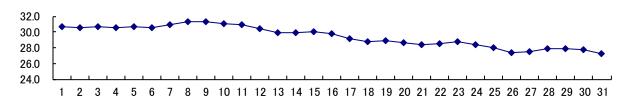
水質調査結果 (放流水 (連続測定))

[平成27年 8月分]

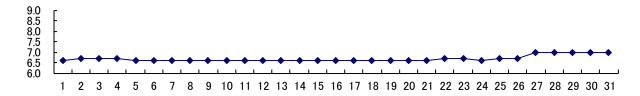
濁度[度(カオリン)]



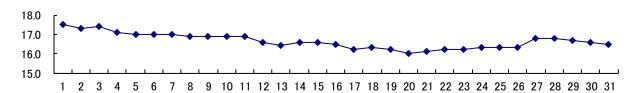
水温[℃]



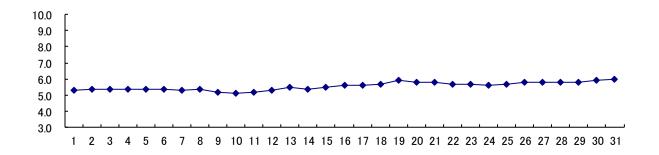
水素イオン濃度(pH)[-]



化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(D0)[mg/L]



水質様式第8号

水質調査結果(放流水、内水①)[平成27年8月分]

区分	放流水			放流水 内水			
項目		SS	FSS		SS	FSS	
	時刻			時刻			
調査日		[mg/L]	[mg/L]		[mg/L]	[mg/L]	
8/6 (木)	10:57	1.7	< 1	11:18	4.4	1.3	
8/10 (月)	9:50	1.5	< 1	10:00	3.0	< 1	
8/18 (火)	9:50	1.5	< 1	10:05	4.1	1.2	
8/25 (火)	9:45	1.5	< 1	9:55	3.8	1.3	
平均值	_	1.6	< 1	_	3.8	1.2	
最小値	_	1.5	< 1	_	3.0	< 1	
最大値		1.7	< 1		4.4	1.3	

特記事項			
14 40 1. 7			

水質調査結果(放流水、内水②)[平成27年8月分]

調査日:平成27年8月6日

区分項目	放流水	内水
時刻	10:57	11:18
[—] Hq	7.1(26℃)	8. 4 (25℃)
COD[mg/L]	17	24
T-N[mg/L]	4. 4	5. 4

特記事項			

水質様式第 10 号

水質調査結果(放流水、内水③)[平成27年8月分]

調査日: 平成27年8月6日

区分項目	放流水	内水
時刻	10:57	11:18
T-P[mg/L]	< 0.1	0.11
n-ヘキサン抽出物質[mg/L]	< 0.5	< 0.5
鉱油類含有量[mg/L]	< 0.5	< 0.5
動植物油脂含有量[mg/L]	< 0.5	< 0.5
大腸菌群数[個/mL]	不検出	6

特記事項			

水質調査結果(護岸外周①)[平成27年8月分]

調査日:平成27年8月6日

						19.4	且日,十八	1 -/4 - 1-
項目	調査点	19	20	21	最小値	~	最大値	平均値
時刻		11:11	10:23	9:44		_		_
透明度	[m]	2.8	2. 1	1. 5		~		
水温		28. 0	28. 2	28. 4	28. 0	~	28.4	28. 2
	$[\infty]$	22.8	23. 1	22. 5	22. 5	\sim	23. 1	22.8
塩分		26. 62	24. 50	18. 96	18. 96	\sim	26.62	23. 36
	[-]	31. 30	31. 05	31. 19	31.05	\sim	31.30	31. 18
浮遊物質量(SS)	1	3	5	1	\sim	5	3
	[mg/L]	8	2	9	2	\sim	9	6
不揮発性浮遊!	物質量	<1	<1	1	<1	\sim	1	1
(FSS)	[mg/L]	5	<1	6	<1	\sim	6	4
水素イオン濃度		8. 2	8.4	8.6	8. 2	\sim	8.6	8. 4
(pH)	[-]	7. 9	7. 9	7.8	7.8	\sim	7.9	7.9
化学的酸素要:	求量	2.6	3.9	5. 3	2.6	\sim	5.3	3.9
(COD)	[mg/L]	1. 9	1.8	2. 2	1.8	\sim	2.2	2.0
	濃度	6. 3	6. 2	9.0	6. 2	\sim	9.0	7.2
溶存酸素量	[mg/L]	2. 2	3. 1	0.9	0.9	\sim	3. 1	2.1
(DO)	飽和度	94	91	129	91	\sim	129	105
	[%]	31	43	12	12	\sim	43	29
全窒素		0.48	0.44	0.76	0.44	\sim	0.76	0.56
(T-N)	[mg/L]	0.41	0.40	0.48	0.40	\sim	0.48	0.43
全燐		0.047	0.053	0.070	0.047	\sim	0.070	0.057
(T-P)	[mg/L]	0. 091	0.088	0.10	0.088	\sim	0.10	0.093
n-ヘキサン抽出物!	質 [mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	\sim	<0.5	<0.5
大腸菌群数 [1	MPN/100mL]	1. 3×10^{1}	3. 3×10^{1}	2. 3×10^{1}	1. 3×10^{1}	\sim	3. 3×10^{1}	2. 3×10^{1}

注) 上段:上層(海面下1m) 下段:下層(海底面上2m)

但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項			
17 17 2 7			

水質調査結果(処分場周辺①)[平成27年8月分]

調査日:平成27年8月6日

										27年8月6日	
項目	調査点	13	14	15	16	17	18	最小値	~	最大値	平均値
時刻		11:50	11:26	10:42	10:06	9:26	9:10		_		_
透明度	[m]	2.6	2.8	3. 2	1.7	1. 7	1. 5		~		
水温		27. 5	28. 4	28. 4	28. 4	28. 2	27. 9	27. 5	~	28.4	28. 1
/J * 1.111.	[℃]	22. 7	22. 7	22.6	22. 9	22. 7	22.6	22.6	\sim	22.9	22.7
塩分		26. 88	27. 14	26. 50	25. 13	24. 51	24. 53	24. 51	~	27.14	25. 78
	[-]	31. 35	31. 34	31. 34	31. 39	31. 34	31. 26	31. 26	\sim	31.39	31. 34
濁度		2.7	2. 1	2. 7	4. 2	5.8	6. 4	2. 1	~	6.4	4.0
	度 (カオリン)]	5. 2	2. 9	6.6	3.6	5. 9	6. 1	2. 9	\sim	6.6	5. 1
浮遊物質量	(SS)	2	2	2	3	5	5	2	~	5	3
	[mg/L]	6	3	9	3	7	6	3	\sim	9	6
不揮発性浮遊		<1	<1	<1	1	1	1	<1	~	1	1
(FSS)	[mg/L]	4	2	7	2	5	4	2	\sim	7	4
水素イオン濃		8.4	8. 4	8.4	8.5	8.6	8.5	8.4	~	8.6	8.5
(pH)	[-]	8.0	8.0	8.0	8.0	7.8	7.8	7.8	\sim	8.0	7.9
化学的酸素要	東水量	2.5	3. 1	3. 5	4.0	5. 1	4. 9	2.5	~	5. 1	3. 9
(COD)	[mg/L]	1.7	1.8	1. 9	1.8	2.4	1. 9	1.7	~	2.4	1.9
	濃度	6. 5	7. 5	7. 3	7. 6	6. 1	6.0	6.0	~	7.6	6.8
溶存酸素量	[mg/L]	2.3	1.4	1. 3	2.8	1.6	1.3	1.3	\sim	2.8	1.8
(DO)	飽和度	96	113	110	114	89	96	89	\sim	114	103
	[%]	32	19	14	40	23	18	14	~	40	24
全窒素		0.40	0.35	0.41	0.53	0.69	0.79	0.35	\sim	0.79	0.53
(T-N)	[mg/L]	0.28	0. 28	0.35	0.25	0.40	0.42	0.25	\sim	0.42	0.33
全燐		0.042	0.040	0.046	0.059	0.070	0.076	0.040	\sim	0.076	0.056
(T-P)	[mg/L]	0.053	0.050	0.062	0.048	0.092	0.089	0.048	\sim	0.092	0.066
クロロフィル	∕ a	6. 7	5. 5	7. 9	20	23	27	5. 5	\sim	27	15
(chl. a)	[μg/L]	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	\sim	0.5	0.4
n-ヘキサン抽出物質	[mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	~	<0.5	<0.5
大腸菌群数	[MPN/100mL]	1.3×10^{1}	2.0×10^{0}	1. 3×10^{1}	2.3×10^{1}	4.9×10^{1}	7.9×10^{1}	2.0×10^{0}	~	7.9×10^{1}	3.0×10^{1}

注)上段:上層 (海面下1m) 下段:下層 (海底面上2m) 但し、n-^キサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

大気質様式第9号(廃棄物搬入施設関連)

大気質測定結果総括表(大阪基地)[平成27年8月分]

項	測定点	No. 2	No. 3
=	有効測定日数 (日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0
硫黄	測定時間数 (時間)	168	168
页	1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数 (日)	7	7
_	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	0	0
酸	日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0
化窒素	測定時間数 (時間)	168	168
乘	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮遊	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	0
十状物	測定時間数 (時間)	168	168
質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質測定結果総括表(堺基地)[平成27年8月分]

項	測定点	No. 1	No. 2
=	有効測定日数 (日)	7	7
酸	日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0
化硫黄	測定時間数 (時間)	168	168
典	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数 (日)	7	7
Ξ	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0
空素	測定時間数 (時間)	168	168
系	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮遊	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	0	0
十状物	測定時間数 (時間)	168	168
質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質測定結果総括表(泉大津基地)[平成27年8月分]

項	測定点	No. A	No. B
_	有効測定日数 (日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0
硫黄	測定時間数 (時間)	168	168
д	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数 (日)	7	7
=	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	0	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0
室素	測定時間数 (時間)	168	168
**	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮遊	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	0	0
状	測定時間数 (時間)	168	168
物質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質様式第10号(廃棄物搬入施設関連)

二酸化硫黄測定結果(大阪基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No.	2	No.	.3
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日 2 (日) 3 (月) 4 (火) 別 5 (水) 6 (木) 値 7 (金) 8 (土)	0. 007 0. 006 0. 007 0. 006 0. 004 0. 004 0. 003	0. 010 0. 008 0. 009 0. 010 0. 008 0. 007 0. 005	0. 007 0. 006 0. 008 0. 007 0. 006 0. 005 0. 004	0. 013 0. 010 0. 009
有効測定日数 (日)	7	7	7	
測 定 時 間 (時間)	16	58	16	58
期間平均値(ppm)	0.0	005	0. (006
日平均値の最高値 (ppm)	0.0	007	0. (008
1時間値の最高値 (ppm)	0.0)10	0. ()13
1時間値が0.1ppmを 超えた時間数 (時間)	0		()
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)	0		0	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

二酸化硫黄測定結果(堺基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No	. 1	No. 2	
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 18 (火) 19 (木) 20 (木) 別 21 (金) 22 (土) 値 23 (日) 24 (月)	0. 007 0. 005 0. 005 0. 004 0. 004 0. 008 0. 006	0. 018 0. 009 0. 008 0. 007 0. 006 0. 066 0. 012	0. 009 0. 005 0. 005 0. 003 0. 004 0. 006 0. 005	0. 029 0. 010 0. 007 0. 007 0. 007 0. 024 0. 011
有効測定日数 (日)	7		7	
測 定 時 間 (時間)	168		168	
期間平均値(ppm)	0.0	006	0. (005
日平均値の最高値 (ppm)	0.0	008	0.0	009
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	0.066)29
1 時間値が0. 1ppmを 超えた時間数 (時間)	0		0	
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)	()	0	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

二酸化硫黄測定結果(泉大津基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No. A		No. B	
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日 19 (水) 20 (木) 21 (金) 別 22 (土) 23 (日) 値 24 (月) 25 (火)	0. 006 0. 006 0. 005 0. 005 0. 005 0. 006 0. 003	0. 009 0. 008 0. 009 0. 006 0. 010 0. 012 0. 006	0. 006 0. 005 0. 003 0. 004 0. 004 0. 005 0. 003	0. 008 0. 007 0. 007 0. 007 0. 006 0. 010 0. 005
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7	
測 定 時 間 (時間)	16	68	16	68
期間平均値(ppm)	0.0	005	0. (004
日平均値の最高値 (ppm)	0.0	006	0. (006
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	012	0. (010
1 時間値が0. 1ppmを 超えた時間数 (時間)	0		0	
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)	()	0	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば() 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

大気質様式第11号(廃棄物搬入施設関連)

一酸化窒素測定結果(大阪基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No.	2	No. 3		
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 2 (日) 3 (月) 4 (火) 別 5 (水) 6 (木) (値 7 (金) 8 (土)	0. 008 0. 010 0. 009 0. 007 0. 017 0. 011 0. 004	0. 014 0. 022 0. 026 0. 025 0. 080 0. 032 0. 017	0. 001 0. 004 0. 006 0. 005 0. 007 0. 011 0. 004	0. 004 0. 010 0. 016 0. 015 0. 019 0. 028 0. 013	
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7		
測 定 時 間 (時間)	16	88	16	88	
期間平均値(ppm)	0.0	009	0. (006	
日平均値の最高値 (ppm)	0. 017		0. 011		
1時間値の最高値 (ppm)	0.0)80	0. 028		

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(堺基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No. 1		No.	2
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 18 (火) 19 (水) 20 (木) 別 21 (金) 22 (土) 値 23 (日)	0. 014 0. 029 0. 046 0. 034 0. 017 0. 005	0. 046 0. 081 0. 128 0. 137 0. 055 0. 010	0. 038 0. 027 0. 045 0. 026 0. 022 0. 003	0. 078 0. 062 0. 100 0. 059 0. 068 0. 006
↑ 24 (月) 有 効 測 定 日 数 (日)	0. 023 7	0.079	0. 017 7	0. 049
測 定 時 間 (時間)	168		16	38
期間平均値(ppm)	0. 024	4	0. ()25
日平均値の最高値 (ppm)	0.046		0.045	
1時間値の最高値 (ppm)	0. 137	7	0. 1	.00

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(泉大津基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No.	A	No.	В	
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 19 (水) 20 (木) 21 (金) 別 22 (土) 23 (日) 値 24 (月) 25 (火)	0. 020 0. 017 0. 021 0. 013 0. 005 0. 015 0. 019	0. 073 0. 044 0. 082 0. 046 0. 012 0. 067 0. 034	0. 017 0. 020 0. 022 0. 004 0. 002 0. 005 0. 002	0. 045 0. 066 0. 078 0. 009 0. 003 0. 016 0. 004	
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7		
測 定 時 間 (時間)	16	18	16	38	
期間平均値(ppm)	0.0	16	0. ()10	
日平均値の最高値 (ppm)	0.021		0.022		
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	82	0.078		

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

大気質様式第12号(廃棄物搬入施設関連)

二酸化窒素測定結果(大阪基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No. 2 No. 3			3
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日 2 (日) 3 (月) 4 (火) 別 5 (水) 6 (木) 値 7 (金) 8 (士)	0. 002 0. 014 0. 021 0. 022 0. 018 0. 017 0. 015	0. 004 0. 023 0. 033 0. 039 0. 039 0. 027 0. 029	0.008 0.015 0.018 0.017 0.015 0.014 0.011	0. 013 0. 027 0. 034 0. 036 0. 030 0. 031 0. 019
有 効 測 定 日 数 (日)	7	7	7	7
測 定 時 間 (時間)	16	58	16	58
期間平均値(ppm)	0. (015	0.0	014
日平均値の最高値 (ppm)	0. ()22	0.0	018
1時間値の最高値 (ppm)	0. ()39	0.0)36
1 時間値が0.2ppmを 超えた時間数 (時間)	0		()
1 時間値が0. lppm以上 0. 2ppm以下の時間数(時間)	(0 0		
日平均値が0.06ppmを 超えた日数 (日)	0 0			
日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	()	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平 均値の集計の対象としない。

二酸化窒素測定結果(堺基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No.	1	No. 2		
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 18 (火) 19 (木) 20 (木) 別 21 (金) 22 (土) 値 23 (日) 24 (月)	0. 031 0. 029 0. 033 0. 022 0. 016 0. 011 0. 030	0. 062 0. 061 0. 046 0. 047 0. 021 0. 019 0. 049	0. 014 0. 016 0. 024 0. 017 0. 015 0. 011 0. 029	0. 050 0. 036 0. 035 0. 033 0. 023 0. 017 0. 050	
有 効 測 定 日 数 (日)	7	7	7	7	
測 定 時 間 (時間)	16	58	16	58	
期間平均値(ppm)	0.0)25	0.0	018	
日平均値の最高値 (ppm)	0.0)33	0.0)29	
1時間値の最高値 (ppm)	0. (062	0.0)50	
1 時間値が0.2ppmを 超えた時間数 (時間)	()	()	
1 時間値が0. 1ppm以上 0. 2ppm以下の時間数(時間)	0 0)	
日平均値が0.06ppmを 超えた日数 (日)	()	()	
日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	()	()	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平 均値の集計の対象としない。

二酸化窒素測定結果(泉大津基地)[平成27年8月分]

測定点	No	.А	No.	В	
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日 19 (水) 20 (木) 21 (金) 別 22 (土) 23 (日) 値 24 (月) 25 (火)	0. 021 0. 016 0. 014 0. 010 0. 009 0. 018 0. 015	0. 015 0. 028	0. 032 0. 026 0. 020 0. 011 0. 011 0. 027 0. 014	0. 052 0. 042 0. 040 0. 018 0. 019 0. 054 0. 026	
有 効 測 定 日 数 (日)		7	-	7	
測 定 時 間 (時間)	16	88	16	88	
期間平均値(ppm)	0.0	015	0.0)20	
日平均値の最高値 (ppm)	0.0	021	0.0)32	
1時間値の最高値 (ppm)	0. (035	0.0)54	
1 時間値が0. 2ppmを 超えた時間数 (時間)	()	()	
1 時間値が0. 1ppm以上 0. 2ppm以下の時間数(時間)	()	0		
日平均値が0.06ppmを 超えた日数 (日)	0 0)	
日平均値が0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	()	()	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平 均値の集計の対象としない。

大気質様式第13号(廃棄物搬入施設関連)

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(大阪基地)[平成27年8月分]

測 定 点		No. 2			No. 3	
	日平	均値	1 吐眼体の	日平	1 吐明体の	
項 目	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 2 (日) 3 (月) 4 (火) 別 5 (木) 6 (木) 値 7 (金) 8 (十)	0. 010 0. 024 0. 030 0. 028 0. 035 0. 029 0. 019	78. 6 51. 4 58. 6	0. 054 0. 086 0. 052	0. 025 0. 022 0. 022 0. 025	72. 0 77. 3 68. 2 56. 0	0. 017 0. 034 0. 043 0. 047 0. 049 0. 049 0. 030
有効測定日数 (日)		7			7	
測 定 時 間 (時間)		168			168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.025			0.020	
日平均値の最高値 (ppm)		0.035			0.025	
1時間値の最高値 (ppm)		0.086			0.049	
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		60. 0	·		70.0	

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の集計の 対象としない。
 - 2. NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。
 - 日 (期間) 平均値NO₂/(NO+NO₂)
 - = (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO2濃度の日(期間)間にわたる総和)/ (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO+NO2濃度の日(月)間にわたる総和)

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(堺基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No. 1				No. 2	
	日平	日平均値		日平	- m-b 1000 (-b	
項目	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 18 (火) 19 (水) 20 (木) 別 21 (金) 22 (土) 値 23 (日) 24 (月)	0. 045 0. 058 0. 079 0. 056 0. 033 0. 016 0. 053	48. 5 68. 8		0. 053 0. 043 0. 069 0. 042 0. 036 0. 014 0. 046	26. 4 37. 2 34. 8 40. 5 41. 7 78. 6 63. 0	0. 104 0. 095 0. 122 0. 092 0. 089 0. 023 0. 093
有効測定日数 (日)		7			7	
測 定 時 間 (時間)] 定時間 (時間) 168 168					
期 間 平 均 値 (ppm)		0.049			0.043	
日平均値の最高値 (ppm)	0. 079				0.069	
1時間値の最高値 (ppm)	0. 184			0. 122		
期間平均値 NO2/(NO+NO2) (%)		51.0			41.9	

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 - 2. NO2/(NO+NO2)の算定方法は、下記のとおりである。
 - 日(期間)平均値N02/(N0+N02)
 - = (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO2濃度の日(期間)間にわたる総和)/ (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO+NO2濃度の日(月)間にわたる総和)

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(泉大津基地)[平成27年8月分]

測 定 点		No. A			No. B	
	日平均値		1 吐眼体の	日平	1 吐明体の	
項目	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 19 (水) 20 (木) 21 (金) 別 22 (土) 23 (日) 値 24 (月)	0. 041 0. 032 0. 035 0. 023 0. 014 0. 033 0. 034	51. 2 50. 0 40. 0 43. 5 64. 3 54. 5	0.107	0. 049 0. 046 0. 042 0. 015 0. 013 0. 032 0. 016	65. 3 56. 5 47. 6 73. 3 84. 6 84. 4 87. 5	0. 118 0. 024 0. 022 0. 068
有効測定日数 (日)		7			7	
測 定 時 間 (時間)		168			168	
期間平均値(ppm)		0.030			0.030	
日平均値の最高値 (ppm)		0.041			0.049	
1時間値の最高値 (ppm)		0.108			0.118	
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		50.0			66. 7	

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の集計の 対象としない。
 - $2.\,NO_2/(NO+NO_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。
 - 日(期間)平均値NO₂/(NO+NO₂)
 - = (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO2濃度の日(期間)間にわたる総和)/ (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO+NO2濃度の日(月)間にわたる総和)

大気質様式第14号(廃棄物搬入施設関連)

浮遊粒子状物質測定結果(大阪基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No	.2	No.	.3
項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)
日 2 (日) 日 3 (月) 4 (火) 別 5 (水) 6 (木) で (金) 8 (土)	0. 049 0. 040 0. 040 0. 043 0. 018 0. 015 0. 024	0. 070 0. 060 0. 061 0. 070 0. 040 0. 031 0. 048	0. 059 0. 045 0. 047 0. 050 0. 027 0. 020 0. 025	0. 061 0. 034
有効測定日数 (日)	-	7	7	7
測 定 時 間 (時間)	10	58	16	58
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0.0)33	0.0)39
日平均値の最高値 (mg/m³)	0.0)49	0. ()59
1時間値の最高値 (mg/m³)	0.0)70	0. ()87
1 時間値が0.20mg/m ³ を 超えた時間数 (時間)	0 0			
日平均値が0.10mg/m ³ を 超えた日数 (日)	()	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

浮遊粒子状物質測定結果(堺基地)[平成27年8月分]

測 定 点	No	. 1	No.	.2	
項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)	
日 18 (火) 19 (木) 20 (木) 別 21 (金) 22 (土) 値 23 (日) 24 (月)	0. 018 0. 021 0. 024 0. 024 0. 015 0. 015 0. 021	0. 055 0. 032 0. 030	0. 018 0. 019 0. 021 0. 019 0. 018 0. 011 0. 019	0. 047 0. 059 0. 031 0. 030	
有 効 測 定 日 数 (日)	7	7	7	7	
測 定 時 間 (時間)	16	68	16	68	
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0.0	020	0.018		
日平均値の最高値 (mg/m³)	0.0	024	0.021		
1時間値の最高値 (mg/m³)	0.0)55	0.059		
1 時間値が0.20mg/m ³ を 超えた時間数 (時間)	()	()	
日平均値が0.10mg/m ³ を 超えた日数 (日)	()	()	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

浮遊粒子状物質測定結果(泉大津基地)[平成27年8月分]

測 定 点	測 定 点 No.A			
項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)
日 19 (水) 20 (木) 21 (金) 別 22 (土) 23 (日) 値 24 (月) 25 (火)	0. 013 0. 020 0. 015 0. 017 0. 012 0. 015 0. 007	0. 037 0. 075 0. 041 0. 062 0. 068 0. 047 0. 017	0. 019 0. 023 0. 019 0. 017 0. 012 0. 019 0. 012	0. 034 0. 041 0. 052 0. 035 0. 023 0. 036 0. 031
有効測定日数 (日)	7	7	7	7
測 定 時 間 (時間)	16	88	16	58
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0. ()14	0. ()17
日平均値の最高値 (mg/m³)	0.020		0. 023	
1時間値の最高値 (mg/m³)	0. ()75	0. ()52
1 時間値が0.20mg/m ³ を 超えた時間数 (時間)	()	()
日平均値が0.10mg/m ³ を 超えた日数 (日)	()	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

大気質様式第15号(廃棄物搬入施設関連)

気象観測結果(風向・風速)(大阪基地)[平成27年8月分]

測 定 点			No. 2				No. 3	
		風 遠	ŧ	最多		風 速		最多
	平均	最大	. 風 速	風向	平均	最 大	. 風速	風向
項目	風速	風速	風向		風速	風速	風向	
	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日 2 (日) 3 (月) 4 (火) 別 5 (木) 6 (木) 7 (金) 8 (土) 有 効 測 定 日 数 (日)	2. 6 2. 5 2. 3 1. 9 2. 2 1. 9 1. 6	3. 9 3. 7 3. 3 3. 7 4. 0 4. 6	WSW SW SW SW SW WSW SSW	WSW WSW SW WSW WSW N	2. 9 2. 8 3. 0 2. 5 2. 8 2. 4 2. 0	4. 6 3. 8 4. 0 4. 6 4. 3 4. 4 5. 1	SW WSW, SW WSW, SW WSW WSW SW WSW T	WSW WSW WSW WSW WSW N
測 定 時 間 (時間)			168				168	
期間平均風速 (m/s)	2. 1			2. 6				
期間最大風速 (m/s)			4.6		5. 1			
期間最多風向 (16方位)			WSW				WSW	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

気象観測結果(風向·風速)(堺基地)[平成27年8月分]

測定点		No. 1					No. 2	
		風	巷	最多	風速		最多	
	平均	最大	. 風速	風向	平均	最大	、 風 速	風向
項目	風速	風速	風向		風速	風速	風向	
	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日 18 (火) 19 (水) 20 (木) 別 21 (金) 22 (土) 値 23 (日) 24 (月)	1. 2 0. 5 0. 7 1. 0 1. 2 1. 1 1. 2	2. 2 1. 9 1. 3 2. 1 2. 1 2. 2 1. 8	NW ESE NNW, WNW WNW, WSW WNW WNW NNW	WNW NNW NNW WSW WNW N	1. 0 0. 5 0. 6 0. 9 1. 4 1. 2 1. 0	1. 9 1. 4 1. 4 2. 1 2. 4 1. 9 1. 9	W NNE W W NNE W SSE	W NE W NNE W NNE W
有効測定日数 (日)			7				7	
測 定 時 間 (時間)			168				168	
期間平均風速 (m/s)		1.0					0. 9	
期間最大風速 (m/s)			2. 2				2. 4	
期間最多風向 (16方位)			WNW			•	NNE	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

気象観測結果(風向·風速)(泉大津基地)[平成27年8月分]

測 定 点			No. A				No. B	
		風	ŧ	最多		風		最多
	平均	最大	. 風 速	風向	平均	最大	風速	風向
項目	風速	風速	風向		風速	風速	風向	
	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日 19 (水) 20 (木) 21 (金) 別 22 (土) 23 (日) 値 24 (月) 25 (火)	1. 0 0. 7 1. 6 1. 5 1. 4 1. 4 2. 9	1. 9 1. 1 4. 1 3. 6 2. 2 2. 9 5. 2	E WNW, WSW NNW NNW NNW NNW	NNW WNW NNW NNW SSE NNW E	0.7 0.6 1.2 1.2 1.6 1.3 2.2	1. 4 1. 3 2. 7 2. 4 4. 6 3. 0 4. 8	SE NNW NNW N NNW N	N SSW SSW NNE N SW
有 効 測 定 日 数 (日)			7				7	
測 定 時 間 (時間)			168				168	
期間平均風速 (m/s)			1.5				1.3	
期間最大風速 (m/s)			5. 2				4.8	•
期間最多風向 (16方位)			NNW				N	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第16号(廃棄物搬入施設関連)

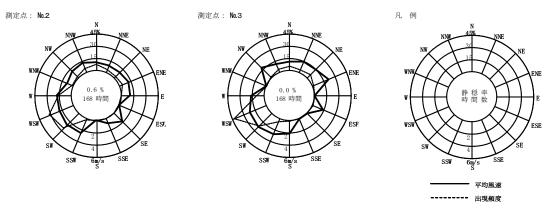
風向別出現頻度及び風向別平均風速(大阪基地)[平成27年8月分]

測定点:No.2

W1 VC WW . 110. C																		
方位項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	6	4	7	1	_	1	1	_	4	43	51	25	1	3	8	12	1	168
頻 度 (%)	3.6	2. 4	4. 2	0.6	_	0.6	0.6	_	2. 4	25. 6	30.4	14. 9	0.6	1.8	4.8	7. 1	0.6	_
平均風速(m/s)	1.2	1. 2	1.6	1.5	_	2.0	0.9	_	2. 5	2. 6	2. 3	2. 2	1.0	1. 4	1.6	1.3	0.3	_

測定点:No.3

方位 項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	6	10	2	_	1	_	_	1	6	36	70	17	_	3	7	9	-	168
頻 度 (%)	3.6	6. 0	1. 2	_	0.6	_	_	0.6	3. 6	21. 4	41.7	10.1	_	1. 8	4. 2	5. 4	_	_
平均風速(m/s)	1.9	1. 9	2.8	_	1.8	_	_	2.0	2. 6	3. 1	2. 9	2. 1	-	2. 3	1. 5	1.5	_	_



風 配 図 (大阪基地)[平成27年8月分]

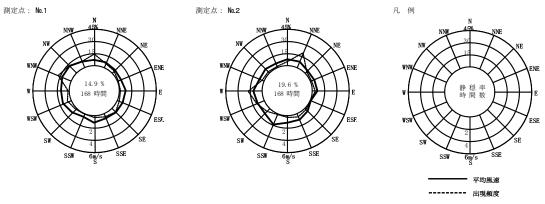
風向別出現頻度及び風向別平均風速(堺基地)[平成27年8月分]

測定点:No.1

W1VC WW . 140. 1																		
方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	9	6	2	3	5	11	7	4	1	3	7	2	27	20	13	23	25	168
頻 度 (%)	5.4	3. 6	1. 2	1.8	3.0	6.5	4.2	2. 4	0.6	1.8	4. 2	1.2	16. 1	11. 9	7. 7	13. 7	14. 9	_
平均風速(m/s)	0.9	0.7	0.6	1.1	1.0	0.9	0.9	1. 2	0.5	1.0	1.4	1.3	1.5	1. 5	1.0	0.9	0.2	_

測定点:No.2

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	33	5	2	6	-	3	6	3	1	8	17	29	5	5	3	9	33	168
頻 度 (%)	19.6	3. 0	1. 2	3.6	_	1.8	3.6	1.8	0.6	4.8	10. 1	17. 3	3.0	3. 0	1.8	5. 4	19. 6	_
平均風速(m/s)	1. 1	0. 5	0.6	0.8	_	0.5	1.0	1. 1	1.8	1. 1	1. 2	1.5	0.9	0.9	0.8	1. 1	0.2	_



風 配 図 (堺基地)[平成27年8月分]

大気質様式第16号(廃棄物搬入施設関連)

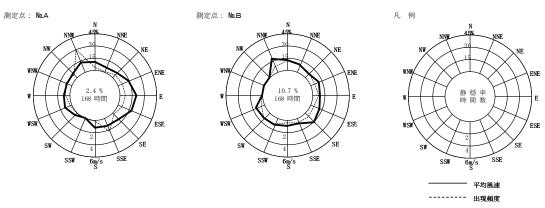
風向別出現頻度及び風向別平均風速(泉大津基地)[平成27年8月分]

測定点:No.A

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	1	7	10	12	10	4	29	2	_	1	4	8	13	8	49	6	4	168
頻 度 (%)	0.6	4. 2	6.0	7. 1	6.0	2. 4	17.3	1.2	_	0.6	2. 4	4.8	7.7	4.8	29. 2	3. 6	2. 4	_
平均風速(m/s)	0.8	1.0	1. 9	2. 7	2. 4	1.5	1.3	1.2	_	0. 5	1. 1	0.9	0.8	0.9	1.7	1. 3	0. 2	_

測定点:No.B

方位 項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	15	13	10	14	9	11	10	6	13	14	5	_	_	-	11	19	18	168
頻 度 (%)	8.9	7.7	6.0	8. 3	5. 4	6.5	6.0	3.6	7. 7	8. 3	3.0	_	-	-	6.5	11. 3	10.7	_
平均風速(m/s)	1.3	0.9	1. 5	1. 3	1.7	2. 1	0.9	0.9	1. 1	1. 2	1.3	_	_	-	2.3	1.6	0.2	_



風 配 図 (泉大津基地)[平成27年8月分]

交通量調査結果総括表(大阪基地) [平成27年8月分]

調査日時:平成27年8月3日 8時~18時

調査地点		総交通量	 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	平此八 学 (%)
No. 1	3, 810	9, 229	13, 039	25	0. 2
No. 2	4, 258	9, 571	13, 829	11	0. 1
No. 3	_	_	_	_	_
No. 4	438	1, 056	1, 494	156	10. 4

交通量調査結果総括表 (堺基地) [平成27年8月分]

調査日時:平成27年8月20日 8時~18時

調査地点		総交通量	量 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	単低八学 (%)
No. 1	8, 070	16, 990	25, 060	100	0.4
No. 2	2, 318	12, 507	14, 825	17	0. 1
No. 3	5, 798	17, 490	23, 288	74	0.3
No. 4	232	84	316	286	90. 5

注:調査地点No.4の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、 8時から17時までの9時間とした。

交通量調査結果総括表(泉大津基地) [平成27年8月分]

調査日時:平成27年8月19日 8時~18時

調査地点		総交通量	量 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	単低八平 (%)
No. A	5, 927	18, 644	24, 571	37	0. 2
No. B	3, 309	5, 973	9, 282	24	0.3
No. C	1, 094	1, 698	2, 792	68	2. 4

交通量調査結果(大阪基地) [平成27年8月分]

調査地点: No. 1

調査日	時:半月	成27年3	8月3日															
			中島	方面					歌島	橋方面					合	計		
時刻	3	交通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	盐	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	盐	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	132	738	870	0	15.2	0.0	103	348	451	1	22.8	0.2	235	1,086	1,321	1	17.8	0.1
09:00	163	626	789	3	20.7	0.4	349	240	589	1	59. 3	0.2	512	866	1, 378	4	37. 2	0.3
10:00	121	643	764	2	15.8	0.3	433	210	643	1	67. 3	0.2	554	853	1, 407	3	39. 4	0.2
11:00	157	690	847	1	18.5	0. 1	114	397	511	1	22. 3	0.2	271	1,087	1, 358	2	20.0	0.1
12:00	211	342	553	1	38. 2	0. 2	114	540	654	0	17. 4	0.0	325	882	1, 207	1	26. 9	0.1
13:00	265	342	607	1	43.7	0. 2	129	384	513	3	25. 1	0.6	394	726	1, 120	4	35. 2	0.4
14:00	187	649	836	2	22.4	0. 2	128	458	586	4	21.8	0.7	315	1, 107	1, 422	6	22. 2	0.4
15:00	205	564	769	1	26.7	0. 1	259	300	559	1	46. 3	0.2	464	864	1, 328	2	34. 9	0.2
16:00	192	504	696	0	27.6	0.0	248	372	620	2	40.0	0.3	440	876	1, 316	2	33. 4	0.2
17:00	108	390	498	0	21.7	0.0	192	492	684	0	28. 1	0.0	300	882	1, 182	0	25. 4	0.0
8:00~ 18:00	1,741	5, 488	7, 229	11	24. 1	0. 2	2, 069	3, 741	5, 810	14	35. 6	0.2	3, 810	9, 229	13, 039	25	29. 2	0.2

交通量調査結果(大阪基地) [平成27年8月分]

調査地点: No. 2

調本日時,亚成97年8月3日

調査日	時:半	成27年	8月3日															
			中島	方面					歌島	僑方面					合	計		
時刻	2	交通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	2	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	定通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	and a second	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	132	666	798	0	16.5	0.0	175	324	499	1	35. 1	0.2	307	990	1, 297	1	23. 7	0.1
09:00	175	516	691	1	25.3	0. 1	318	402	720	0	44. 2	0.0	493	918	1, 411	1	34. 9	0.1
10:00	192	619	811	1	23.7	0. 1	283	492	775	1	36. 5	0.1	475	1, 111	1, 586	2	29. 9	0.1
11:00	312	498	810	0	38. 5	0.0	330	456	786	0	42.0	0.0	642	954	1, 596	0	40.2	0.0
12:00	224	342	566	2	39. 6	0.4	139	516	655	1	21. 2	0.2	363	858	1, 221	3	29. 7	0.2
13:00	331	384	715	1	46.3	0. 1	152	492	644	2	23. 6	0.3	483	876	1, 359	3	35. 5	0.2
14:00	186	432	618	0	30. 1	0.0	276	504	780	0	35. 4	0.0	462	936	1, 398	0	33. 0	0.0
15:00	186	480	666	0	27. 9	0.0	247	534	781	1	31.6	0.1	433	1,014	1, 447	1	29. 9	0.1
16:00	186	474	660	0	28. 2	0.0	144	540	684	0	21. 1	0.0	330	1,014	1, 344	0	24. 6	0.0
17:00	120	426	546	0	22.0	0.0	150	474	624	0	24. 0	0.0	270	900	1, 170	0	23. 1	0.0
8:00~ 18:00	2,044	4, 837	6, 881	5	29. 7	0. 1	2, 214	4, 734	6, 948	6	31. 9	0.1	4, 258	9, 571	13, 829	11	30. 8	0. 1

交通量調査結果(大阪基地) [平成27年8月分]

調査地点: No. 4

調查日時:平成27年8月3日

調査日	時:平)	成27年	8月3日															
			海:	方面					国道4	3号方面					合	計		
時刻	3	芝通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7.	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	疝	廃棄物 輸送車	八玉年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	19	98	117	9	16. 2	7. 7	6	12	18	0	33.3	0.0	25	110	135	9	18.5	6.7
09:00	17	67	84	12	20.2	14. 3	15	33	48	18	31.3	37. 5	32	100	132	30	24. 2	22.7
10:00	35	22	57	15	61.4	26. 3	29	65	94	16	30.9	17.0	64	87	151	31	42.4	20.5
11:00	45	75	120	12	37.5	10.0	59	15	74	14	79.7	18. 9	104	90	194	26	53.6	13. 4
12:00	17	49	66	6	25.8	9. 1	11	12	23	5	47.8	21.7	28	61	89	11	31.5	12.4
13:00	35	73	108	12	32.4	11. 1	27	56	83	11	32.5	13. 3	62	129	191	23	32.5	12.0
14:00	11	49	60	6	18.3	10.0	6	60	66	6	9.1	9. 1	17	109	126	12	13. 5	9.5
15:00	28	55	83	5	33. 7	6. 0	30	74	104	8	28.8	7. 7	58	129	187	13	31.0	7.0
16:00	0	55	55	1	0.0	1.8	18	54	72	0	25.0	0.0	18	109	127	1	14. 2	0.8
17:00	12	24	36	0	33.3	0.0	18	108	126	0	14.3	0.0	30	132	162	0	18. 5	0.0
8:00~ 18:00	219	567	786	78	27.9	9. 9	219	489	708	78	30.9	11.0	438	1,056	1, 494	156	29. 3	10.4

交通量調査結果(堺基地) [平成27年8月分]

調査地点: No. 1

調查日時:平成27年8月20日

<u> </u>	時: 平	以21年	8月20月															
			大阪	方面					和歌	山方面					合	計		
時刻	7	を 通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7.	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7.	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	疝	廃棄物 輸送車	SH T H	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	230	1,362	1,592	2	14. 4	0. 1	205	720	925	1	22.2	0. 1	435	2, 082	2, 517	3	17. 3	0.1
09:00	336	1,027	1,363	13	24. 7	1.0	313	810	1, 123	7	27.9	0.6	649	1,837	2, 486	20	26. 1	0.8
10:00	873	726	1,599	15	54.6	0.9	389	661	1,050	6	37.0	0.6	1, 262	1, 387	2, 649	21	47.6	0.8
11:00	866	498	1,364	2	63.5	0.1	355	703	1,058	2	33.6	0.2	1, 221	1, 201	2, 422	4	50.4	0.2
12:00	345	798	1,143	3	30.2	0.3	396	732	1, 128	0	35. 1	0.0	741	1,530	2, 271	3	32.6	0.1
13:00	316	852	1, 168	10	27. 1	0.9	302	661	963	9	31. 4	0.9	618	1, 513	2, 131	19	29.0	0.9
14:00	764	768	1,532	14	49.9	0.9	468	948	1, 416	6	33. 1	0.4	1, 232	1,716	2, 948	20	41.8	0.7
15:00	603	468	1,071	3	56.3	0.3	263	672	935	5	28. 1	0.5	866	1, 140	2,006	8	43. 2	0.4
16:00	164	816	980	2	16.7	0. 2	366	1,014	1,380	0	26.5	0.0	530	1,830	2, 360	2	22.5	0.1
17:00	198	1,506	1,704	0	11.6	0.0	318	1, 248	1,566	0	20.3	0.0	516	2, 754	3, 270	0	15.8	0.0
8:00~ 18:00	4,695	8, 821	13, 516	64	34. 7	0.5	3, 375	8, 169	11, 544	36	29. 2	0.3	8, 070	16, 990	25, 060	100	32. 2	0.4

交通量調査結果(堺基地) [平成27年8月分]

調査地点: No. 2

調査日	時:半)	成27年	8月20日															
			国道20	5号方面					阪神高	速方面					合	計		
時刻	3	と 通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	嚧	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	and a second	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	108	324	432	0	25.0	0.0	133	534	667	1	19. 9	0.1	241	858	1,099	1	21. 9	0.1
09:00	60	469	529	1	11.3	0. 2	199	751	950	2	20. 9	0.2	259	1, 220	1, 479	3	17. 5	0.2
10:00	84	588	672	0	12.5	0.0	146	744	890	2	16. 4	0.2	230	1, 332	1,562	2	14. 7	0.1
11:00	212	559	771	3	27.5	0.4	126	654	780	0	16. 2	0.0	338	1, 213	1, 551	3	21.8	0.2
12:00	187	396	583	1	32.1	0. 2	72	588	660	0	10.9	0.0	259	984	1, 243	1	20.8	0.1
13:00	90	504	594	0	15. 2	0.0	81	672	753	3	10.8	0.4	171	1, 176	1, 347	3	12. 7	0.2
14:00	84	690	774	0	10.9	0.0	235	732	967	1	24. 3	0.1	319	1, 422	1,741	1	18. 3	0.1
15:00	48	570	618	0	7.8	0.0	164	606	770	2	21. 3	0.3	212	1, 176	1, 388	2	15. 3	0.1
16:00	84	762	846	0	9. 9	0.0	97	612	709	1	13. 7	0.1	181	1, 374	1, 555	1	11. 6	0.1
17:00	54	1,056	1,110	0	4. 9	0.0	54	696	750	0	7. 2	0.0	108	1, 752	1,860	0	5. 8	0.0
8:00~ 18:00	1,011	5, 918	6, 929	5	14.6	0. 1	1, 307	6, 589	7, 896	12	16.6	0.2	2, 318	12, 507	14, 825	17	15. 6	0.1

交通量調査結果(堺基地) [平成27年8月分]

調査地点: No. 3

調查日時:平成27年8月20日

調査日	時:平)	攻27年	8月20日															
			和歌	山方面					大阪	方面					合	計		
時刻	3	を通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7.	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	111111	廃棄物 輸送車	and a second	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率	輸送車 混入率 (%)
08:00	228	696	924	0	24.7	0.0	173	1,717	1,890	6	9. 2	0.3	401	2, 413	2,814	6	14. 3	0.2
09:00	312	721	1,033	7	30.2	0.7	347	1, 160	1,507	7	23.0	0.5	659	1,881	2, 540	14	25. 9	0.6
10:00	533	735	1,268	8	42.0	0.6	408	920	1, 328	8	30. 7	0.6	941	1,655	2, 596	16	36. 2	0.6
11:00	339	705	1,044	6	32.5	0.6	343	741	1,084	4	31.6	0.4	682	1, 446	2, 128	10	32. 0	0.5
12:00	398	729	1, 127	5	35.3	0.4	210	757	967	1	21.7	0.1	608	1, 486	2,094	6	29. 0	0.3
13:00	267	583	850	4	31.4	0.5	258	667	925	7	27. 9	0.8	525	1, 250	1,775	11	29. 6	0.6
14:00	333	769	1, 102	4	30.2	0.4	295	750	1,045	1	28. 2	0.1	628	1, 519	2, 147	5	29. 3	0.2
15:00	278	853	1, 131	3	24.6	0.3	306	829	1, 135	1	27. 0	0.1	584	1,682	2, 266	4	25. 8	0.2
16:00	301	990	1, 291	1	23.3	0.1	145	606	751	1	19. 3	0.1	446	1, 596	2,042	2	21.8	0.1
17:00	210	1,578	1,788	0	11.7	0.0	114	984	1, 098	0	10.4	0.0	324	2, 562	2,886	0	11.2	0.0
8:00~ 18:00	3, 199	8, 359	11,558	38	27.7	0.3	2, 599	9, 131	11, 730	36	22. 2	0.3	5, 798	17, 490	23, 288	74	24. 9	0.3

交通量調査結果(堺基地) [平成27年8月分]

調査地点: No. 4

調査日時:平成27年8月20日

I/H H. H	- J · /	1// 21	0月20日															
		7	フェニッ	クス方	面				堺:	方面					合	計		
時刻	7	を 通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7.	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量((台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	祉	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)		大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	11	11	22	16	50.0	72. 7	0	0	0	0	1	-	11	11	22	16	50.0	72. 7
09:00	24	8	32	26	75.0	81.3	33	11	44	38	75.0	86. 4	57	19	76	64	75.0	84. 2
10:00	14	13	27	21	51.9	77.8	12	13	25	19	48.0	76. 0	26	26	52	40	50.0	76. 9
11:00	11	1	12	12	91.7	100.0	12	2	14	14	85.7	100.0	23	3	26	26	88.5	100.0
12:00	13	8	21	21	61.9	100.0	7	6	13	13	53.8	100.0	20	14	34	34	58.8	100.0
13:00	27	0	27	27	100.0	100.0	25	3	28	28	89. 3	100.0	52	3	55	55	94.5	100.0
14:00	9	3	12	12	75.0	100.0	18	3	21	21	85.7	100.0	27	6	33	33	81.8	100.0
15:00	7	1	8	8	87.5	100.0	8	1	9	9	88.9	100.0	15	2	17	17	88. 2	100.0
16:00	0	0	0	0	ı	-	1	0	1	1	100.0	100.0	1	0	1	1	100.0	100.0
17:00	_	-	1	_	i	-	ī	-	ì	-	1	-	ī	-	1	-	1	-
8:00~ 18:00	116	45	161	143	72.0	88.8	116	39	155	143	74.8	92. 3	232	84	316	286	73. 4	90. 5

注:堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、調査時間を8時から17時までの9時間とした。

交通量調査結果(泉大津基地) [平成27年8月分]

調査地点: No.A

調査日時:平成27年8月19日

明且口		24 T		方面					和歌	山方面					合	計		
時刻	7	芝通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	祉	廃棄物 輸送車	NH		大型車 類	小型車 類	祉	廃棄物 輸送車	混入率(%)		大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	307	1,398	1,705	1	18.0	0.1	158	703	861	3	18.4	0.3	465	2, 101	2, 566	4	18. 1	0.2
09:00	509	739	1,248	6	40.8	0.5	199	870	1,069	1	18.6	0. 1	708	1,609	2, 317	7	30.6	0.3
10:00	200	829	1,029	3	19.4	0.3	391	920	1, 311	3	29.8	0. 2	591	1,749	2, 340	6	25. 3	0.3
11:00	656	588	1,244	2	52.7	0. 2	174	963	1, 137	3	15.3	0.3	830	1,551	2, 381	5	34.9	0.2
12:00	559	714	1,273	1	43.9	0.1	235	906	1, 141	1	20.6	0.1	794	1,620	2, 414	2	32. 9	0.1
13:00	211	865	1,076	2	19.6	0.2	204	853	1,057	1	19.3	0.1	415	1,718	2, 133	3	19.5	0.1
14:00	518	637	1, 155	3	44.8	0.3	246	1,070	1, 316	2	18.7	0.2	764	1,707	2, 471	5	30.9	0.2
15:00	464	786	1,250	2	37. 1	0. 2	223	1,020	1, 243	1	17.9	0.1	687	1,806	2, 493	3	27.6	0.1
16:00	150	889	1,039	1	14. 4	0.1	193	1, 170	1, 363	1	14. 2	0. 1	343	2,059	2, 402	2	14. 3	0.1
17:00	192	1,260	1,452	0	13. 2	0.0	138	1, 464	1,602	0	8.6	0.0	330	2, 724	3, 054	0	10.8	0.0
8:00~ 18:00	3, 766	8, 705	12, 471	21	30. 2	0. 2	2, 161	9, 939	12, 100	16	17. 9	0. 1	5, 927	18, 644	24, 571	37	24. 1	0.2

交通量調査結果(泉大津基地) [平成27年8月分]

調査地点:No.B

調査日時:平成27年8月19日

調査日	时: 干)	成27年	8月19日	1														
			泉北	2方面					助松J	CT方面					合	計		
時刻	2	芝通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	78	192	270	0	28.9	0.0	156	852	1,008	0	15. 5	0.0	234	1,044	1, 278	0	18.3	0.0
09:00	116	258	374	2	31.0	0. 5	280	216	496	4	56. 5	0.8	396	474	870	6	45. 5	0.7
10:00	164	210	374	2	43.9	0. 5	186	260	446	2	41.7	0.4	350	470	820	4	42.7	0.5
11:00	231	229	460	4	50.2	0.9	181	319	500	2	36. 2	0.4	412	548	960	6	42.9	0.6
12:00	264	198	462	0	57. 1	0.0	216	338	554	2	39.0	0.4	480	536	1,016	2	47. 2	0.2
13:00	96	162	258	0	37. 2	0.0	175	301	476	2	36.8	0.4	271	463	734	2	36. 9	0.3
14:00	102	325	427	1	23. 9	0. 2	283	228	511	1	55.4	0.2	385	553	938	2	41.0	0.2
15:00	121	313	434	2	27. 9	0. 5	300	240	540	0	55.6	0.0	421	553	974	2	43. 2	0.2
16:00	132	288	420	0	31.4	0.0	108	306	414	0	26. 1	0.0	240	594	834	0	28.8	0.0
17:00	78	456	534	0	14. 6	0.0	42	282	324	0	13.0	0.0	120	738	858	0	14.0	0.0
8:00~ 18:00	1,382	2,631	4,013	11	34. 4	0.3	1, 927	3, 342	5, 269	13	36. 6	0.2	3, 309	5, 973	9, 282	24	35. 6	0.3

交通量調査結果(泉大津基地) [平成27年8月分]

調査地点: No.C

調査日時:平成27年8月19日

H/H II. II	4 : 十)																	
		7	フェニッ	クス方	面				泉大	津方面					合	計		
時刻	3	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	疝	廃棄物 輸送車	八王 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王平 混入率 (%)		大型車 類	小型車 類	疝	廃棄物 輸送車	八王平 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	14	80	94	4	14.9	4. 3	61	12	73	1	83.6	1.4	75	92	167	5	44.9	3.0
09:00	36	129	165	3	21.8	1.8	85	142	227	5	37.4	2. 2	121	271	392	8	30.9	2.0
10:00	56	75	131	5	42.7	3.8	38	58	96	6	39.6	6. 3	94	133	227	11	41.4	4.8
11:00	49	93	142	4	34.5	2.8	85	88	173	5	49. 1	2. 9	134	181	315	9	42.5	2.9
12:00	61	44	105	3	58. 1	2. 9	31	79	110	2	28. 2	1.8	92	123	215	5	42.8	2.3
13:00	42	38	80	2	52.5	2. 5	30	174	204	0	14. 7	0.0	72	212	284	2	25. 4	0.7
14:00	43	51	94	4	45.7	4. 3	133	153	286	4	46.5	1.4	176	204	380	8	46.3	2.1
15:00	63	40	103	7	61.2	6.8	81	70	151	7	53.6	4. 6	144	110	254	14	56. 7	5.5
16:00	42	56	98	2	42.9	2. 0	78	124	202	4	38.6	2. 0	120	180	300	6	40.0	2.0
17:00	18	12	30	0	60.0	0.0	48	180	228	0	21.1	0.0	66	192	258	0	25.6	0.0
8:00~ 18:00	424	618	1,042	34	40.7	3. 3	670	1,080	1,750	34	38.3	1. 9	1,094	1, 698	2, 792	68	39. 2	2. 4

悪臭調査結果(大阪基地)[平成27年8月分]

調査日:平成27年8月11日

調査項目	_	調査地点	No.5(風上)	No.6(風下)
	天	候	晴	晴
	気	温 (℃)	33. 2	30.9
気 象	湿	度(%)	43	49
	風	向	南西	静穏
	風	速 (m/s)	0. 5	<0.4
臭	気	強度	0	0
臭	気	指数	<10	<10
臭		質	無臭	無臭

悪臭調査結果(堺基地)[平成27年8月分]

調査日: 平成26年8月12日

				1/4 <u>1</u> /	火20十0月12日
調査項目	\	_	調査地点	No. 5(風下)	No. 6(風上)
	天		候	晴	晴
	気	温	(℃)	30. 7	30. 3
気 象	湿	度	(%)	56	54
	風		向	西~北西	西~北西
	風	速	(m/s)	0.7	1. 1
臭	気	強	度	0	0
臭	気	指	数	<10	<10
臭			質	無臭	無臭

悪臭調査結果(泉大津基地)[平成27年8月分]

調査日:平成27年8月11日

調査項目	_	調査	地点	No. D1(風上)	No. D2(風下)
	天	候		晴	晴
	気	温 (℃)	32. 7	32. 4
気 象	湿	度(%)	56	55
	風	向		西	西
	風	速 (m/	s)	0.6	1. 2
臭	気 強	度		0	0
臭	気 指	数		<10	<10
臭		質		無臭	無臭